

***** 7月26日(金) *****



5202-1

縦走隊は3:50、奥穂高山頂での御来光を期待して行動開始。

④班のザイテングラード隊は朝食をとって、御来光隊の下山を待ち、山荘の周囲をうろ



2170

山荘の裏手から見た笠ヶ岳



2171

早朝、奥穂高へ御来光登山したメンバーが下山してきた。



2174

ザイテングラード隊の④班は2班3班の皆の体調具合、無線のコード確認をしてから、6:20下山開始。彼らの足なら、今から朝食弁当を食べて出発しても、涸沢ヒュッテで追いつくであろう。



64

常念岳を拝みながら



72



69

この下りで韓国人の団体が居て、抜きつ、抜かれつだが言葉が通じず、融通し合えなかった。残念。



73

ザイテングラードを降る。登山者が沢山、登ってきて、離合が大変だ。考えれば今日は土曜日だった。予定外れ。時間がかかりすぎた。



3049

ハクサンフウロ



5244

昨日は涸沢小屋から樹林帯を抜けたけれど、今日は雪原を抜けるパノラマコースを降ろう。



5250



2181 こば

パノラマコースの雪原からザイテングラード、穂高岳山荘（雪渓のある鞍部）を見上げ

る



2177

前穂高岳もここで見納めだ。無線交信。奥穂高から前穂高～岳沢～上高地隊は今、前穂高にいるようだ。



2183 こぼ

雪溪のそばには、もう、こんなになったチングルマもあった。

北穂～涸沢岳縦走隊（奥穂御来光組）は



5202-1

3 : 50、奥穂高山頂での御来光を期待して行動開始。



5202-2

山荘から直ぐの梯子場下の岩場に取り組み



5202-3



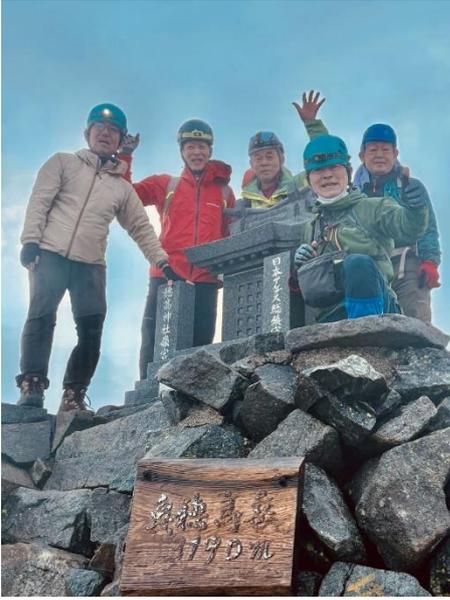
5202-4

4 : 50 分、登ったぞ、奥穂高山頂の方向標示盤場



0725 (3)

ここで前穂高～岳沢～上高地隊（4人）とお別れ。



5202-5



5202-7



5202-8

ガスの切れるのを期待して、しばし写真撮影で楽しむ。



5207-1

おお、ジャンダルム。

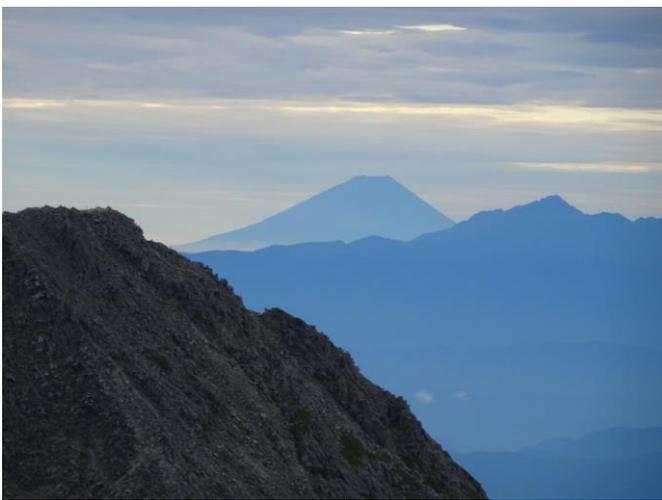


5212-1



5216

涸沢側にはガスが懸かっているが



5218

富士山だ。御来光は残念だったけれど、



5219

遠くは八ヶ岳連峰だろうなあ～



5225-1



5225-3

6：20 山荘着。朝食を頂き、まず、涸沢ヒュッテを目指して、4班のA・B班を追いかけよう



5232



5236



5243

草原の下を歩いているのが④班だな！



5263

振り返り、昨日登った北穂高方面を望み、



5267

④班を追いかける。



5268

曇ってきたが、今日は明神岳も見える。



4160

オトギリソウ

上高地バスセンターに 16 時までには着けると思っていたが、この日は土曜日で入山者が多く離合に時間がかかり、チョットしたアクシデントも有って、上高地に着いたのが 16:40 になった。大型バスで中ノ湯温泉へのヘアピンカーブが心配されたが、難なく旅館に着いた。その夜の懇親会が賑わったことは言うまでもない。

④班の反省

最終日、御来光隊は 4 時前発。我らザイテングラード隊は 5 時の朝食。6 時前に出発は可能であったが、穂高御来光班と無線連絡が取れ無かった為、彼らの下山を待つこととした。梯子場で離合に苦心中の姿を見守りながら。

無線更新確認をして、結局、6 時 20 分には下山開始。この日は土曜日で 10 時頃の時間帯、ヒュッテから横尾山荘の間は離合に時間が懸かった。このことを想定していなかった。そのうえ、明神から河童橋は左岸が通行止めで上高地まで余計な時間がかかり、さらに遅くなった。

明神で「バスが待っている、急げと号令」。穂高岳山荘で出発を遅らせた事と離合時間を予測出来ていなかった、申し訳なく思っています。 【K】